

CDM 理事会第 27 回会合

2006 年 10 月 29 日－11 月 1 日 ドイツ・ボン

結果概要 (“Meeting Report” 要約)

(原文は[こちら](#))

2006 年 11 月 30 日

文責 信岡洋子

CDM理事会検討事項の概要

- ① CDM-AP(信任パネル)関連では、3 件の運営機関の信任が決定した。全てのスコープで有効化審査の信任を得た運営機関が誕生した。
- ② 方法論の検討については、Meth パネルの提案どおり、3 件の新方法論が承認された。
- ③ 政策・プログラム CDM をめぐる「政策 (policy)」「プログラム活動(programme of activities)」の定義については検討が今後も引き続き行われることとなった。
- ④ 追加性立証ツールとベースライン選定ツールを組み合わせた「Combined tool」を承認。
- ⑤ CDM 登録については、会合前にレビューリクエストが申請されたプロジェクトを検討し、登録承認あるいはレビュー実施を決定した。それとともに、レビューが終了したプロジェクトを改めて検討した。CER 発行申請のレビューについても同様の検討が行われた。
- ⑥ 11 月 6 日～17 日に開催されたCOP/MOP 2 におけるCDM関連議題については、[弊所COP/MOP2 参加報告書p13～17](#)をご参照ください。

1. 運営機関の信任

1-1. 有効化審査(validation)・検証(verification)・認証(certification)の信任に関する提案
→ 1 件の運営機関が以下のスコープで信任・暫定指定された。

(i) TÜV SÜD

スコープ：8. Mining/mineral production

9. Metal production

(既に信任を受けているスコープ：有効化審査・登録→1,2,3,4,5,6,7,10,11,12,13,15

検証・認証→1,2,3,4,5,6,7,10,11,12,13,15)

同機関は、有効化審査では全てのスコープで信任を得たことになる。

1-2. 有効化審査(validation)の信任に関する提案

→2 件の運営機関が以下のスコープで信任・暫定指定された。

(i) **KPMG**

スコープ： 13. Waste handling and disposal

(既に信任を受けているスコープ：有効化審査・登録→1,2,3 検証・認証→なし)

(ii) **Lloyd's Register Quality Assurance (LRQA)**

スコープ： 13. Waste handling and disposal

(既に信任を受けているスコープ：有効化審査・登録→なし 検証・認証→なし)

1-3. スポットチェック

スポットチェックが実施されたある DOE の扱いについて信任パネルの提案（内容は機密）をもとに検討した。当該 DOE からは信任パネルの提案に対して反論が提出されており（ただし提出されたのは所定の締め切りを過ぎてからであった）、CDM 理事会は次回の会合で正式に検討することとした。

スポットチェック以外にも、DOE のクオリティスタンダードを維持するための対策を検討中。

1-4. 信任手続きの改定提案

ある年のCOP/MOPと翌年のCOP/MOPの開催の間の時期に、CDM理事会がDOEの信任を一時停止や取り消し、再信任することができるよう改定する旨COP/MOPに確認することとした（その後COP/MOP2で承認された。[決定書「CDMに関する指針」](#)パラ 5)

2. ベースライン及びモニタリングの方法論

2-1. 新方法論の審査

Meth パネルの提案をもとに、以下の方法論案を検討した。

(1) 承認 (A 判定)

Meth パネルの A 判定の提案をすべて受け入れ、以下を承認した。

NM0110-rev : ブラジルの木炭製造におけるメタン排出削減→**AM0041**となった (スコープ 4) ([Meeting Report Annex 2](#))

NM0133-rev : タイの新規プランテーションからのバイオ燃料を用いた発電→**AM0042**となった (スコープ 1, 14) ([Meeting Report Annex 3](#))

NM0151 : ブラジルのガス配給パイプライン交換プロジェクト→**AM0043**となった (スコープ 10) ([Meeting Report Annex 4](#))

(2) 不承認の方法論案 (C 判定)

Meth パネルの提案どおり以下を不承認とした。

NM0158 : メキシコのバス交通システムの試験プロジェクト

NM0184 : インドにおける呼気冷却(inlet air cooling)の改修を通じてのガスタービンの効率改善

NM0190 : ホンジュラスにおける重油燃料を用いたトリジェネレーション (熱、電気、冷却) プロジェクト

2-2. 承認済み方法論の改定

Meth パネルの提案をもとに、**AM0034** (Meeting Report [Annex5](#))、**ACM0006** ([Annex6](#))、**AM0025** ([Annex7](#))、**AM0028** ([Annex8](#)) の改定を決定。なお、Meth パネルが提案していた**ACM0004**の改定は受け入れられず、Meth パネルが更に検討することとなった。その他、方法論の統合と改定のクライテリアに関する指針を決定 ([Annex10](#))。

2-3. ベースライン選定と追加性立証ツール

CDM 理事会はMeth パネルが提案する Combined tool (追加性立証ツールと新しく策定するベースライン選定ツールを一体化させたもの) を検討し、合意した ([Annex9](#))。可能な全てのベースラインがプロジェクト参加者の管理下にある場合のみ適用可とすることで合意 (ただし、新規設備には適用されない、というMeth パネル案については再検討を要請)。さらに事務局に、既存の追加性立証ツールの改善について提案を作成するよう招請した。

2-4. プログラム CDM

CDM 理事会の要請にこたえて Meth パネルが検討した「プログラム programme of activities」、「政策 policy」の定義オプション案と一つの活動として登録するための手続き案を検討した。次回引き続き検討する。

3. 吸収源 CDM、小規模 CDM 関連事項

前回の CDM 理事会以降、上記のワーキンググループは開催されていないため、これらに関する検討事項は特になかった。

4. CDM プロジェクトの登録

登録のためにこれまで提出されたプロジェクトに関する情報は[こちら](#)。

2006 年 11 月 30 日現在、登録プロジェクト数は 421 件。

4-1. 登録申請にレビューリクエストが提出されたプロジェクト

CDM理事会では、今会合前にレビューリクエストが申請された6件のプロジェクト (<http://cdm.unfccc.int/Projects/review.html> の「EB27」の6件) を検討し、レビューを実施するかそれともレビューなしで登録を承認するか決めた。

- ① レビューなしで登録が承認されたプロジェクト 1件：
インド小規模風力発電 (564)
- ② 修正を条件にレビューなしで登録が承認されたプロジェクト 1件
インド苛性ソーダ製造工場での排熱・天然ガスの効率利用 (500)
- ③ レビュー実施が決定されたプロジェクト 4件
インドのセメント製造 (454)、インドHFC破壊 (499)、インド小規模水力発電 (522)、
ブラジル小規模水力 (530) レビューの範囲はAnnex11、12、13、14参照。

4-2. レビューチームのレビュー結果

レビューが完了した以下3件のプロジェクトにつき、レビューチームの結果を検討し、全て登録を認めないことと決定した。 http://cdm.unfccc.int/Projects/under_review.html

- ブラジルの銑鉄プラントにおける高炉ガス発電 (410)、
- アルゼンチンの開放サイクルガスタービンからコンバインドサイクルへの改修(443)、
- ブラジルの製鉄所における燃料油・電力・LPG から天然ガスへのエネルギー転換(474)

5. CER の発行・CDM 登録簿

CERの発行状況は[こちら](#)。

2006年11月30日現在、21,475,988 CERs が発行された。

5-1. CER 発行レビュー申請があったプロジェクト

2件に提起されたレビュー申請を検討し、レビューを実施するか、申請された CER を発行するか決定した。

対象プロジェクト：、

- ① CER 発行を承認 1件：
インド風力(310)の 162,638CERs (申請通り)
- ② モニタリングレポートと検証レポートの再提出を条件にレビューなしで CER 発行を承認 1件：韓国ウルサン HFC 破壊(003)

5-2. レビューチームのレビュー結果

レビューが完了した3件のCER発行申請につき、レビューチームの結果を検討した。

① 検証・認証レポートの再提出を条件にCER発行を承認：1件

スリランカの小規模水力(085) (次回のCDM会合で再提出書類を検討する)

②CER発行を不承認

メキシコ糞尿メタン2件(163、150)の2,345CERs、3,301CERsはレビューの結果、CER発行不可とした。

6. その他

資金面等CDMの運営計画、関係主体(DNA、DOE、政府間機関、NGOなど)との意見交換の計画や結果報告、COP/MOPに提出したCDM理事会年次報告書の追加分など関して話し合われた。

COP/MOP2でのCDM関連の議論については[弊所COP/MOP2 参加報告書](#)p13~17をご参照ください。

以上